

① 研究課題名：

名古屋市立大学医学部附属東部医療センターにおける腹腔鏡下卵巣内膜症性嚢胞摘出手術の摘出組織に関する検討

② 研究の目的：

妊娠希望がある方の卵巣内膜症性嚢胞の治療では、可能な限り正常卵巣組織を残す必要があります。手術治療としては主に、嚢胞摘出術及び嚢胞焼灼術があり、嚢胞摘出術は術後再発率が低く標準術式とされていますが、嚢胞摘出の際に正常卵巣組織も一部摘出されることが多く、術後の卵巣機能の低下が最近の研究で報告されています。嚢胞焼灼術は、正常卵巣への損傷は少ないと考えられますが、嚢胞摘出術よりも再発が多いとされています。このため、現在標準術式とされる嚢胞摘出術において、正常卵巣の損傷がどの程度発生しているかを調べることは、有意義と考えられます。本研究は、当院における腹腔鏡下卵巣内膜症性嚢胞摘出術症例を後方視的に調査し、摘出した嚢胞の正常卵巣組織の有無について検討することを目的としています。

③ 研究期間：西暦 2021年 6月 ～ 2021年 10月 31日

④ 研究責任者及び研究実施施設一覧

研究責任者：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 産婦人科 犬塚早紀

研究実施施設：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

⑤ 研究の対象：

2018年1月1日から2020年12月31日までの間に、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター産婦人科にて卵巣内膜症性嚢胞に対して腹腔鏡下卵巣内膜症性嚢胞摘出術を施行した方

⑥ 調査項目：

対象の方の診療録から以下の情報が収集されます。

手術時年齢、嚢胞の大きさ（検査日、検査方法）、内膜症と診断された日、

内膜症の治療歴・手術歴、挙児希望の有無、妊娠出産歴、術者

また、手術時に摘出した病理組織検体を観察し、正常卵巣組織の有無を調査します。

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入し集計・解析します。

⑧ 研究成果の公開

学会等で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて登録されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究に関する利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	産婦人科	犬塚 早紀 TEL : 052-721-7171 (代表)